

# DCT-WR200D/-E/-D

## 取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やけがの原因となる場合があります。この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。

### 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いません。

- 本製品は、自家用乗用車（普通・小型四輪車、軽四輪車）専用です。
  - Wi-Fi<sup>®</sup>機能の正常な動作のため、本体が進行方向に対して水平または垂直になるように取り付けてください。車両の特性上、取り付け角度が傾いてしまう場合は、水平または垂直に対して、傾き 20° 以内の角度で取り付けてください。
  - ご使用になる前にユーザー登録が必要になります。→「[はじめてお使いになるときは](#)」
  - 本機をはじめてお使いになるときは、本機を起動してインジケーターが緑色と赤色で交互に点滅してから docomo in Car Connect の利用登録およびチャージを行ってください。
- 「[はじめてお使いになるときは](#)」

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>  
 「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。  
 携帯電話からは、IP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)  
 正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

**カスタマーサポートセンター** ※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトもご利用ください。

■お客様サポートサイト  
<https://jpn.pioneer/ja/support/>

■商品についてのよくあるお問い合わせ(FAQ)  
<https://faq2.jpn.pioneer/>

■電話  
 《スマートデバイス関連商品》※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください  
 【固定電話から】0120-993-032(無料) 【携帯電話から】050-3097-9331 (IP電話・有料)  
 ※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております

■ファックス 0120-105-680(無料)

令和6年4月現在 記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。 VOL.12

パイオニア株式会社  
 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート  
 ©パイオニア株式会社 2024  
 < KMTZ24G > 401-0-03634 >

## 専用サポートガイド

本書で説明している以下の項目については「専用サポートガイド」もあわせてご利用ください。

- ご利用開始までの流れ
- パイオニア ID の登録方法
- ドコモ UIMカードの有効期限と docomo in Car Connect の利用期間の確認方法
- 付属のドコモ UIMカードの有効期限経過後の継続利用方法



[https://jpn.pioneer/ja/car/info/wifi\\_router\\_dct-wr200d/support/](https://jpn.pioneer/ja/car/info/wifi_router_dct-wr200d/support/)

## 安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	<b>危険</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
	<b>警告</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	<b>注意</b>	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意 (警告を含む) しなければならない内容です。		必ず行っていただく強制の内容です。
	禁止 (やってはいけないこと) の内容です。		

## ■本機、ドコモUIMカード

WF-v3.3\*

## 接続・取り付け

### 警告

禁止  
 取り付けやアース配線に、保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを使用しない  
 制御不能や発火、交通事故の原因となります。

禁止  
 電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない  
 電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

禁止  
 視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない  
 交通事故やケガの原因となります。

禁止  
 説明書に従って接続・取り付ける  
 説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

禁止  
 コード類は運転操作を妨げないように引き回し固定する  
 ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、事故の原因となります。

禁止  
 付属の部品を使用し、固定する  
 付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

禁止  
 取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する  
 正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

禁止  
 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する  
 断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

禁止  
 取り付け場所の汚れ(ごみ、ほこり、油)などを取り除き、しっかりと取り付ける  
 走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。

### 注意

禁止  
 直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付け  
 内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

禁止  
 ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない  
 製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない  
 熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

禁止  
 本機を不安定なところに取り付け  
 ない  
 落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

禁止  
 USBシガーチャージャーを確実に挿入する  
 挿入が不十分だと火災、感電の原因となります。

禁止  
 USBシガーチャージャーは定期的  
 に清掃と点検を行う  
 アクセサリーソケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

## 使用方法

### 警告

禁止  
 運転者は走行中に操作をしない  
 前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

禁止  
 液体で濡らさない  
 発煙、発火、感電の原因となります。  
 本機のカードスロットカバーに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れない  
 火災・やけど・けが・感電などの原因となります。

禁止  
 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機を使用しない  
 電子機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。  
 ※ご注意いただきたい電子機器の例  
 補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・その他の自動制御機器など

禁止  
 USBシガーチャージャー挿入中はソケットを回したり押し込んだりしない  
 接触不良により火災や故障の原因となります。

禁止  
 分解や改造、半田付け等の修理をしない  
 交通事故や火災、感電の原因となります。本機の改造は電波法違反となり罰則の対象となることがあります。

禁止  
 使用後または長時間使用しない場合はUSBシガーチャージャーを抜く  
 車種によってエンジンを切ってもアクセサリソケット電源が切れない場合があり、火災やバッテリー上がりの原因となります。

### 注意

禁止  
 本機は自動車用途以外で使用しない  
 本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない  
 落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない  
 故障や火災の原因となります。

禁止  
 USBシガーチャージャーを濡らしたり汚したりしない  
 火災、感電の原因となります。濡れたり、汚れたりしたときは、きれいに拭き取ってください。

禁止  
 温度の上昇に注意する  
 本機やUSBシガーチャージャーは、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

## 異常時の問い合わせ

### 警告

禁止  
 万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店がサービス相談窓口  
 に相談する  
 そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

## ドコモUIMカード

## 使用方法

### 注意

禁止  
 ドコモUIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えない  
 故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようご注意ください。  
 指定以外のドコモUIMカードを使用しない  
 指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。

## お願いとご注意

### ■ご利用にあたって

- 本端末は電波を利用しているため、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末に貼ってあるラベルは、法的認証を証明するものですので、ラベルは剥がさないでください。また、汚したり、消したりしないでください。
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損失を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してください。
  - ・誤った使い方をしたとき
  - ・静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
  - ・動作中に電源を切ったとき
  - ・故障したり、修理に出したとき
- 爆発物を取り扱う場所、その周辺では本端末を使用しないでください。爆発を誘発する恐れがあります。また、爆破装置などに影響を与える場合があります。
- 本端末で利用するドコモUIMカードは、ご購入の端末以外でのご利用を禁止しております。他の端末でのご利用が判明した場合は予告なく通信を停止、契約の解除をいたします。
- セキュリティモードの設定を脆弱なものに変更された場合は、通信内容の傍受等される恐れがあります。

## お取り扱いについて

### ■ドコモUIMカードについて

- ドコモUIMカードの取り付け、取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの損失・故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障・破損の原因となります。
- ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。故障・破損の原因となります。
- ドコモUIMカードにラベルやシールを貼った状態で、本機に取り付けしないでください。故障の原因となります。



# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間

### 修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。）

### 保証期間中の修理

#### について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

連絡先については、弊社ホームページをご覧ください。

### 保証期間経過後の

#### 修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。なお、生産終了により補修用性能部品の調達や修理後の性能保証などの事情から修理できない場合があります。あらかじめご了承ください。弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取付店にご相談ください。

### 車からの脱着

#### （お取り外し・お取り付け）

#### について

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

# 本書の見かた

表記	意味
	取り扱いで注意していただきたいことや、本機の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
メモ	操作する上でのヒントや、機能に関する補足について説明しています。
[○○]	画面に表示される選択項目を表します。
→ [○○○○]	参照していただきたい箇所や設定項目を表します。

- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

# 使用上のご注意

- PIN・PIN ロック解除コードには対応しておりません。
- ドコモUIMカードへのメモリダイヤルの登録・メッセージなど各種データ保存には対応しておりません。

## ⚠ 本機取り扱いに関するご注意

- 運転者は走行中に操作しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。
- 60℃以上の高温または-10℃以下の低温、および湿度の高い場所では本機を使用しないでください。
- 必ず付属のUSBケーブル（USB 2.0 Standard-A to USB Type-C®）を使用してください。
- DCT-WR200D および DCT-WR200D-D は付属のUSBシガーチャージャーを使用してください。
- DCT-WR200D-E はUSBシガーチャージャーが付属しません。1.5 A以上の電流を流せるUSBポートをご使用ください。
- シガーライター使用直後は電源端子が高温になっています。そのままUSBシガーチャージャーを挿入すると先端が溶断・ショートする可能性があります。しばらく時間をおいて熱が冷めてからUSBシガーチャージャーを挿入してください。

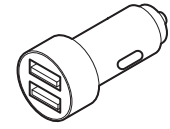
## ⚠ 電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく省電力データシステム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときには無線局の免許は必要ありません。また、本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
  - ・分解 / 改造する。
  - ・本機に貼ってある証明シールをはがす。
- 本機の無線機能は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN機器など）が使用しているため、電波の干渉により無線機能の接続が途切れたり、使えなくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
  - ・無線LAN機器を利用したAV機器、防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、接続が途切れたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、接続が途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
  - ・火災報知器、ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、コンピューターなど）
  - ・工場や倉庫などの物流管理システム、鉄道車両や緊急車両の識別システム
  - ・マイクロ波治療器、ゲーム機のワイヤレスコントローラー
  - ・自動ドア、万引き防止システム（書店、CDショップなど）
  - ・自動制御機器・その他、無線対応機器やVICS（道路交通網システム）
  - ・アマチュア無線局など

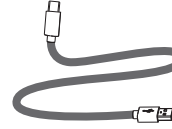
# 付属品を確認する



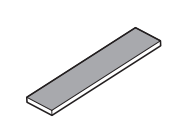
本体 × 1



USB シガーチャージャー（※） × 1



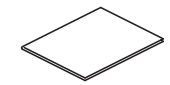
USB ケーブル（USB 2.0 Standard-A to USB Type-C®） 1.5 m × 1



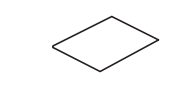
両面テープ付き面ファスナー × 2



取扱説明書（本書） × 1



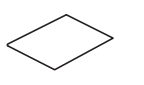
契約書 × 1



ラベル × 1



ドコモUIMカード（本体に挿入済み）



保証書 × 1



クイックスタートガイド × 1

※：DCT-WR200D-Eには付属しません。

# USBシガーチャージャーの復帰方法

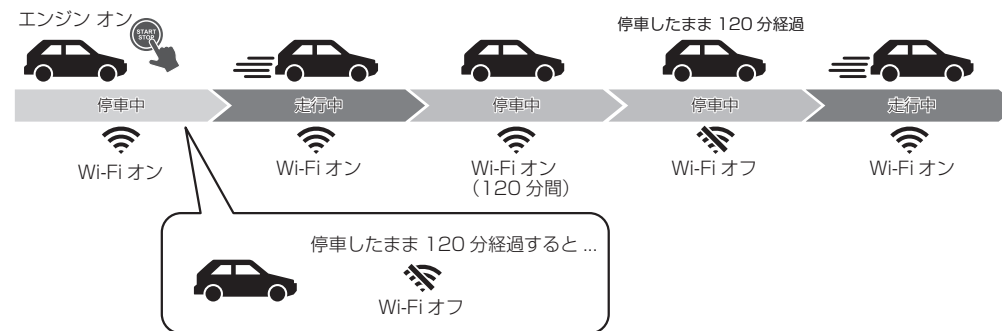
USBシガーチャージャーは出力に異常を検知すると保護モードに入ります。復帰するには、USB出力端子や本体に異常がないか確認した後、接続し直してください。

# 本機の特長 <必ずお読みください。>

本製品は、自家用乗用車（普通・小型四輪車、軽四輪車）への設置を前提とした車載専用の通信機器です。走行状態を検知し、車載であることを判断した上でWi-Fi機能をオンにします。

## Wi-Fi機能の動作条件

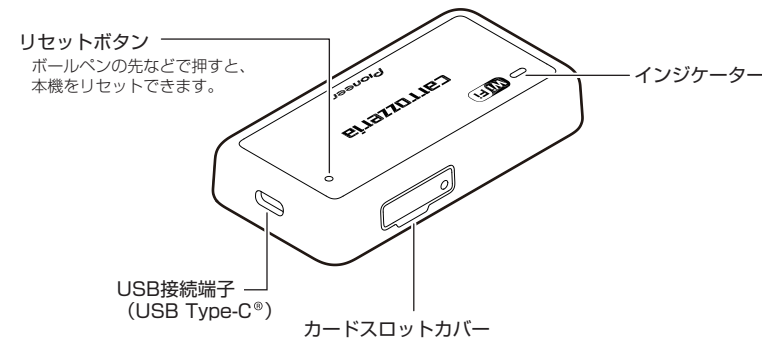
- 購入後の初回起動時または前回乗車時に走行した場合は、本体起動後、走行するまでの120分間はWi-Fi機能がオンになります。この間はエンジンをオフ/オンしても、120分という時間は変わりません。停車したまま120分が経過すると、エンジンがオンでもWi-Fi機能がオフになります。
- 走行を開始すると、Wi-Fi機能がオンになります。その後、停車し、停車したまま120分が経過すると、Wi-Fi機能がオフになります。



## メモ

- オンラインゲームなどお楽しみいただくコンテンツによっては、通信の仕様上、再生できない場合もあります。
- 電源オンの状態で車外に持ち出した場合や停車中に衝撃を検知した場合は、Wi-Fi機能がオフになります。
- エンジンをオンにして本機が起動した直後は、Wi-Fi接続できるようになるまでに時間がかかる場合があります。
- 本機が走行状態を判定するまでに時間がかかる場合があります。また、実際には走行中でも走行状態と判定されない場合があります。
- Wi-Fi接続を行う際は、インジケーターで本機の状態を確認してください。→「本機の状態表示」
- 停車中にWi-Fi機能がオンになる時間（120分）は、変更になる場合があります。
- ファームウェアは自動で更新されます。
- ファームウェア更新中は、通信速度が遅くなる場合があります。

# 各部の名称



# 本機の状態表示

インジケーターの色や点灯・点滅によって本機の状態を表します。

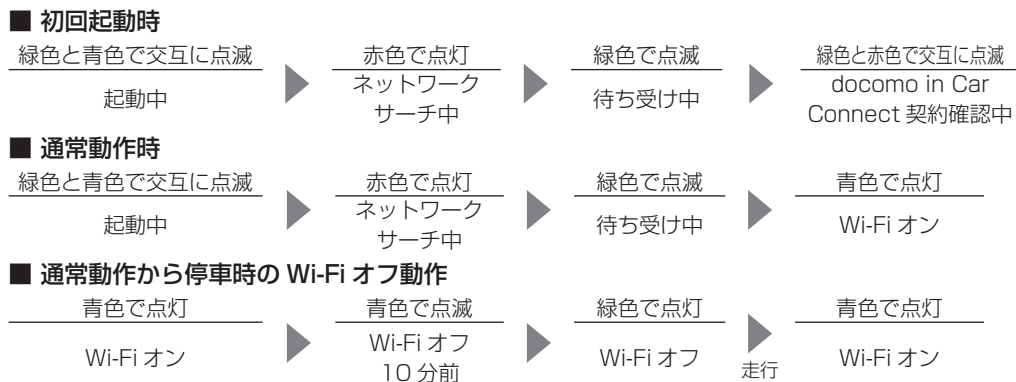
点灯パターン	状態
緑色と青色で交互に点滅	起動中
緑色で点滅	待ち受け中
赤色で点灯	未接続/圏外状態/ネットワークサーチ中/ドコモUIMカード有効期限外
緑色と赤色で交互に点滅	docomo in Car Connect 有効期限外 (チャージ前 / チャージ切れ)
赤色で点滅	ドコモUIMカード未挿入、認証エラー
青色と赤色で交互に点滅	ファームウェア更新中
青色で点灯	Wi-Fi 機能オン
青色で点滅	停車状態の一定時間経過による Wi-Fi オフの 10 分前
緑色で点灯	Wi-Fi 機能オフ
消灯	電源オフ

## 各動作時のインジケーターの状態

本機の動作にともなって、インジケーターの状態が次のように変化します。

凡例：

インジケーターの状態	本機の状態
------------	-------



# はじめてお使いになるときは

本機をはじめてお使いになるときは、次の手順に従って操作してください。

## Step1 パイオニア ID 登録と商品登録

本機をお使いになる前に、お客様登録と商品登録が必要になります。  
→ [「パイオニア ID 登録と商品登録」](#)

## Step2 本機の取り付け・接続と起動確認

付属の USB ケーブル、USB シガーチャージャーをアクセサリソケットに接続します。エンジンをオンにして、本機の起動が完了すると、インジケーターが緑色と赤色で交互に点滅します。→ [「本体の取り付けと接続」](#)

### ⚠ 注意

- 通電されると通信利用が開始されます。付属のドコモUIMカードの通信利用期限は本体起動後、通信が開通された日を含む24ヵ月間となります。すぐにご利用にならない場合は通電しないようにしてください。有効期限が過ぎた後に継続してご利用になる場合は My Pioneer (マイパイオニア) サイトでドコモUIMカードの利用期限の更新が必要です。

## Step3 docomo in Car Connect の登録とチャージ

お手持ちの iPhone/ スマートフォンを使って、docomo in Car Connect の登録とチャージを行います。→ [「docomo in Car Connect の利用登録とチャージ」](#)

## Step4 本機の再起動

チャージ後は、USB ケーブルを抜き差しするか、リセットボタンを 3 秒間押します。インジケーターが青色に点灯したら、Wi-Fi 接続できる状態となります。→ [「Wi-Fi ネットワークに接続する」手順 1](#)

## Step5 Wi-Fi 接続

本書に同梱しているラベルに記載の 2 次元コードを読み取り、スマートフォンなどの Wi-Fi 対応端末を本機に Wi-Fi で接続します。  
→ [「Wi-Fi ネットワークに接続する」手順 2](#)

# パイオニア ID 登録と商品登録

本機を使用するためには、事前にパイオニア ID と商品の登録が必要になります。登録することによって、以下のサービスを受けることができます。

- ドコモUIMカードの有効期限や docomo in Car Connect の利用期間のご確認
- ドコモUIMカードの有効期限が近づいてきた際の通知と継続方法のご案内
- ソフトウェアアップデートのお知らせ等の有益な情報の配信

登録方法は下記の URL からご確認ください。  
<https://my.pioneer.jp/>

# 取り付けの前に知ってほしいこと

### ⚠ 警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けしないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- 必ず車両の備品および運転に支障のない場所に本機を取り付けてください。

### ⚠ 注意

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

両面テープは、一度貼り付けた後に剥がすと粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ず本体を仮留めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

## 取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- **まず、仮取り付けと仮接続を行い、本機が正常に起動することを確認してから、取り付けてください。** 正常に起動しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

両面テープを貼り付ける前に

- 両面テープを貼り付けるところは、汚れをよく拭きとってください。

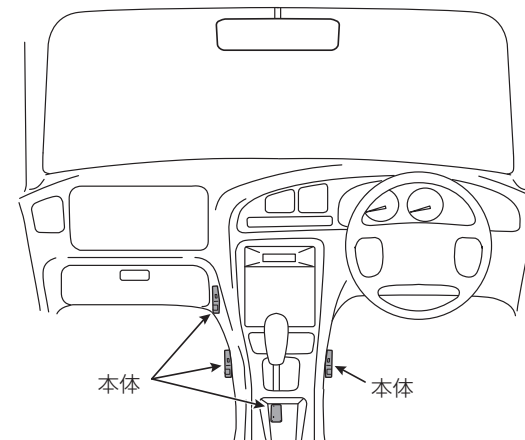
# 本体の取り付け

## ⚠ 取り付け上のご注意

- 湿気の多いときは、取り付け面を乾燥させてから作業を行ってください。
- 取り付け面に水気があると接着力が低下してはがれる恐れがあります。
- 取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて事故の原因になります。
- 取り付け後に両面テープをはがした場合は、市販の両面テープでしっかりと貼り直してください。
- 作業場所は、空気中にゴミ、ほこりなどが無い場所を選んでください。
- ダッシュボードの上とフロントガラスには取り付けしないでください。
- コード類は、運転操作の妨げにならないようかつ乳幼児の手の届かないところに引き回し、テープなどで固定してください。
- エアコンの噴出し口の周辺には取り付けしないでください。
- 可動部には取り付けしないでください。
- 車室外には取り付けしないでください。
- ハンドル下部への取り付けは推奨しません。
- インジケーターが確認できる位置に取り付けてください。
- 通信中は、身体から 2 cm 以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

本体が、進行方向に対してできるだけ水平または垂直になるように取り付けてください。正しく取り付けられていないと、Wi-Fi 機能がオンになりません。  
→ [「■ 取り付け向きと角度」](#)

## ■ 推奨取り付け位置

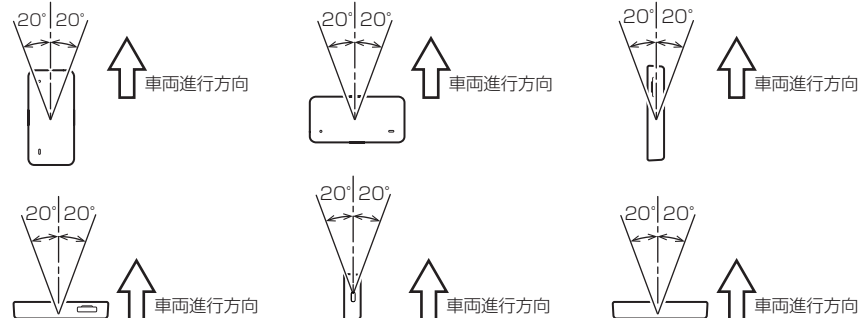




# 本体の取り付け

## ■ 取り付け向きと角度

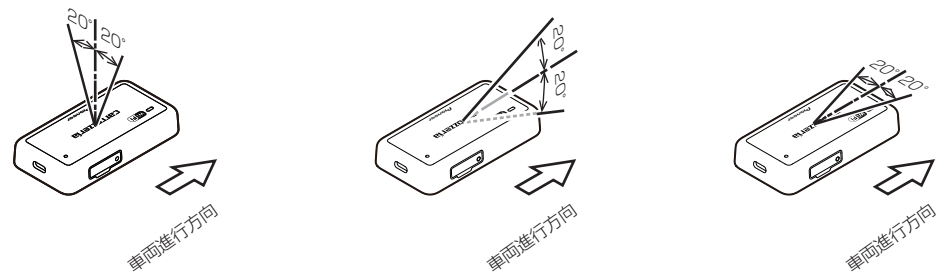
本体が進行方向に対してできるだけ水平または垂直になるように取り付けてください。



また、本体の取り付け角度は、車両の前後方向（X軸）、左右方向（Y軸）、上下方向（Z軸）を軸にして、それぞれ 20° 以内の角度で取り付けてください。

## ■ 水平置き例

前後を軸（X軸）にした傾き      左右を軸（Y軸）にした傾き      上下を軸（Z軸）にした傾き



## ■ 取り付け例

本体がシフトノブの操作に影響がない位置や運転時に足が当たらない位置に取り付けてください。

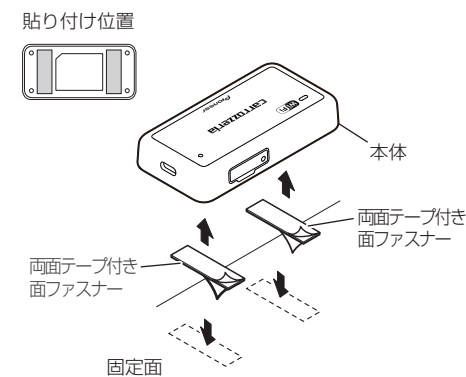


## ■ メモ

- 本体を取り付ける前に接続するケーブルが本体まで届くかどうか確認してください。

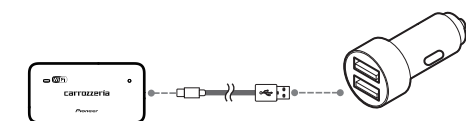
## 1 本体を取り付ける

本体底面に、両面テープ付き面ファスナーを貼り、固定面に貼り付けます。



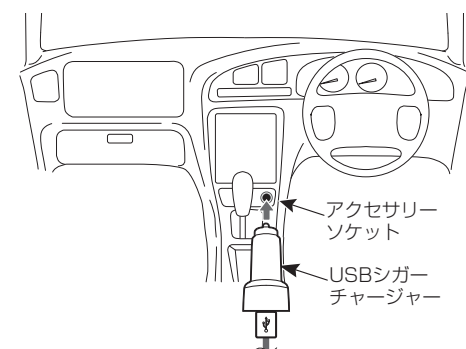
## 2 本体のUSB接続端子と、USBシガーチャージャーをUSBケーブルで接続する

本体にUSBコネクタを挿入する際、奥まで差し込んでください。



## 3 車のアクセサリースOCKETにUSBシガーチャージャーを挿入する

お車のアクセサリースOCKETに奥までしっかり押し込んで、確実に接続してください（アクセサリースOCKETの位置はお車によって異なります）。



⚠ シガーライター使用直後は、アクセサリースOCKETが高温になっています。そのままUSBシガーチャージャーを挿入すると先端が溶断・ショートする可能性があります。しばらく時間をおいて熱が冷めてからUSBシガーチャージャーを挿入してください。

## 4 起動確認する

取り付けと接続が終わったら、本機が正常に起動することを確認してください。本機は、車のエンジンをオン（ACC ON）にすると起動し、起動中は、本体のインジケーターが緑色と青色で交互に点滅します。起動が完了すると、本体のインジケーターが緑色と赤色で交互に点滅します。詳しくは「本機の状態表示」をご覧ください。本体には電源ボタンはありません。

# docomo in Car Connect の利用登録とチャージ

株式会社NTTドコモが提供する「docomo in Car Connect」サービスを契約すると、本機をアクセスポイントとして使用でき、本機の通信を利用した機能や、iPhone/スマートフォン、タブレットなどでインターネット通信を利用できます。

ご利用には、本機の接続と、「docomo in Car Connect」サービスの利用登録とチャージが必要になります。

## ■ メモ

- docomo in Car Connect の利用登録には、dアカウントが必要です。あらかじめご用意ください。
- DCT-WR200D-D は初回ご利用時のチャージは不要になります。
- 法人回線に紐づく d アカウント（ビジネス d アカウント）では使用することはできません。
- d アカウントは、忘れないように本書裏面下部の記入欄に控えておくことをお勧めします。
- 本機をはじめとお使いになるときは、本機を起動してインジケーターが緑色と赤色で交互に点滅してから docomo in Car Connect の利用登録およびチャージを行ってください。

## 利用登録

### 1 本体裏側のラベルの2次元コードをスマートフォンで読み取り、サイトにアクセスする

## ■ メモ

- 本体の裏側または本書に貼付されているラベルに記載されている ICCID とパスコードを使って、docomo in Car Connect サイト (https://docomo-icc.com/icc/) から利用登録することもできます。

### 2 dアカウントのIDを入力し、[次へ]をタッチする



### 3 パスワードとセキュリティコードを入力し、[ログイン]をタッチする



### 4 [上記、利用規約および注意事項に同意する]にチェックを入れ、[次へ]をタッチする



### 5 内容を確認し、[次へ]をタッチする



### 6 契約書の送付方法を選び、[お申込内容確認する]をタッチする

ここでは、契約書の送付方法は電子交付を例に説明します。



### 7 内容を確認し、[この内容で登録する]をタッチする



以上でお申込みは完了です。続けてチャージする場合は、[マイページ]をタッチし、→「チャージ」の手順5から操作してください。

## チャージ

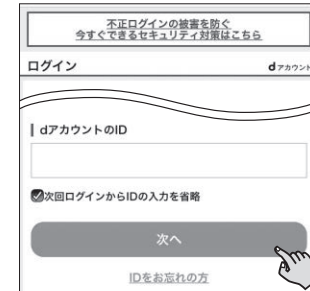
### 1 スマートフォンで docomo in Car Connect サイトにアクセスする

docomo in Car Connect サイト：  
<https://docomo-icc.com/icc/>

### 2 [ログイン]をタッチする



### 3 dアカウントのIDを入力し、[次へ]をタッチする



# docomo in Car Connect の利用登録とチャージ

**4** パスワードとセキュリティコードを入力し、[ログイン]をタッチする



マイページが表示されます。

**5** [利用期間を選ぶ]をタッチする



**6** 利用期間を選び、[手続き内容を確認する]をタッチする



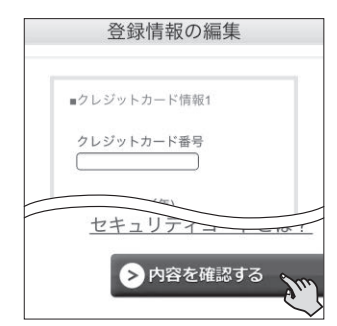
**7** 支払い方法の[変更]をタッチする



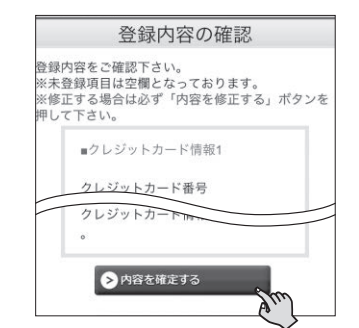
**8** [クレジットカード登録]をタッチする



**9** クレジットカード情報を入力し、[内容を確認する]をタッチする



**10** 登録内容を確認し、[内容を確認する]をタッチする



**11** 使用するカードを選び、[変更する]をタッチする



**12** 内容を確認し、[手続きする]をタッチする



**13** [手続き実行]をタッチする



以上でチャージは完了です。

## ご利用期間の確認

チャージした後に、利用期限を確認できます。

**1** スマートフォンで docomo in Car Connect サイトにアクセスし、ログインする

→ [チャージ] の手順 1～4

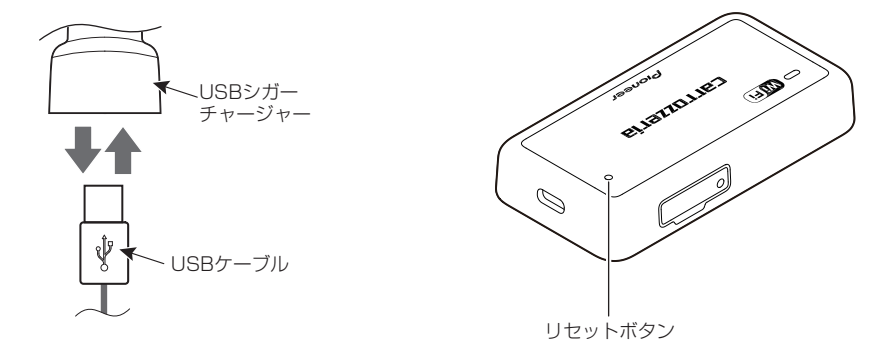
**2** 利用期限を確認する



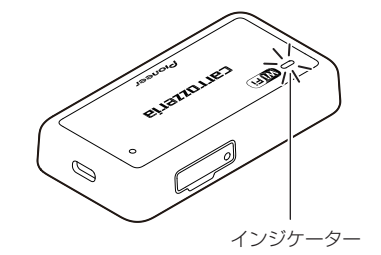
# Wi-Fi ネットワークに接続する

docomo in Car Connect の利用登録とチャージが完了した後は、以下の手順でスマートフォンなどを本機の Wi-Fi ネットワークに接続します。

**1** USB ケーブルを抜き差しまたは、リセットボタンを 3 秒間押す

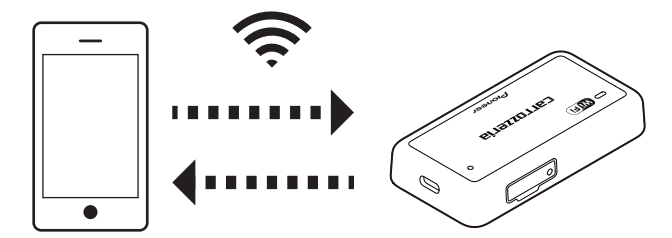


インジケータが青色に点灯したら、Wi-Fi 接続できます。



**2** スマートフォンなどの Wi-Fi 対応端末を本機の Wi-Fi ネットワークに接続する

製品に同梱されているラベルに記載の 2 次元コードを読み取るか、SSID とパスワードを使って接続したい機器を本体の Wi-Fi ネットワークに接続します。



# 有効期限と利用期間の確認

- ドコモUIMカードの有効期限は本体起動後、通信開始された日を含む24ヵ月間です。
- docomo in Car Connectのご利用期間はお申込みのプランにより異なります。
- パイオニアID登録と商品登録が完了するとMy Pioneer（マイパイオニア）サイトでドコモUIMカードの有効期限とdocomo in Car Connectのご利用期間の確認ができます。

有効期限の確認は下記のURLからご確認ください。  
<https://my.pioneer.jp/>

# 付属のドコモUIMカードの利用期限を迎えたら

- ドコモUIMカードの有効期限が過ぎたらMy Pioneer（マイパイオニア）サイトでUIM有効期限を更新することができます。（有料）

有効期限の更新は下記のURLから行ってください。



<https://my.pioneer.jp/>

※あんしん自動更新に申し込まれているお客様は24ヵ月ごとに自動で更新されます。

## あんしん自動更新について

あんしん自動更新とは、Wi-Fiルーターのご契約サービス期間終了時、お手続きなく24ヵ月ごとに自動で契約期間を延長する安心のサービスです。  
あんしん自動更新はMy Pioneer（マイパイオニア）サイトよりお申込みいただけます。

# SSID/パスワードの変更とリセット

## SSID/パスワードの変更

Wi-Fi接続時に使用するSSID、パスワードは本体の裏側または本書に貼付されているラベルに記載されています。この情報を第三者に見られて、不正アクセスされる可能性がある場合は、SSID、パスワードを変更してください。

**1** スマートフォンなどのWi-Fi対応端末を起動し、本機とWi-Fi接続する

**2** 1で接続した端末にてWebブラウザを起動し、アドレス入力欄に「<http://192.168.0.1/>」と入力する

**3** ログインパスワードを入力し、[ログイン]をタッチする

初期ログインパスワードは「123456」です。

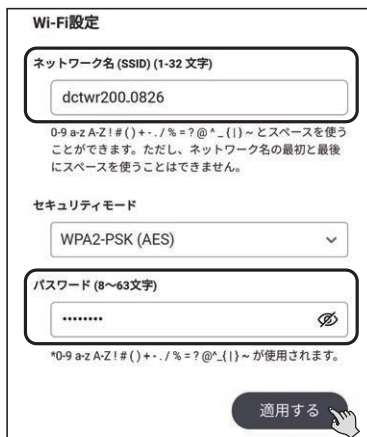


**メモ**  
●ログインパスワードは、[アカウント管理]で変更できます。

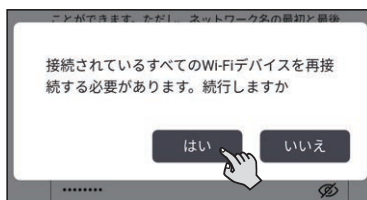
**4** 設定のメニューから[Wi-Fi設定]をタッチする



**5** Wi-Fi設定で、[ネットワーク名(SSID)]と[パスワード]に新しいネットワーク名とパスワードを入力し、[適用する]をタッチする



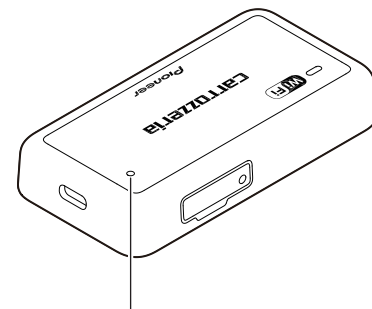
**6** メッセージを確認し、[はい]をタッチする



▼  
設定が有効になります。Wi-Fiを接続し直してください。

## SSID/パスワードのリセット

SSID/パスワードは、リセットボタンを10秒間長押しすることでリセットできます。



**メモ**  
●ログインパスワードなどの他の設定項目も同時にリセットされます。

# 故障かな？と思ったら

修理に出す前に、下記内容をご確認ください。

症状	原因	対処
Wi-Fi機能が有効にならない。	パイオニアID登録と商品登録がされていない。	My Pioneer（マイパイオニア）サイトでパイオニアID登録を行ってください
	docomo in Car Connectサービスが有効でない。	docomo in Car Connectサービスへの加入（利用登録、チャージ）を行ってください。
	ドコモUIMカードの有効期限が終了している。	My Pioneer（マイパイオニア）サイトで更新手続きを行ってください。
	車両が停車のまま一定時間が経過した。	走行を開始してください。
	停車中に本体に衝撃が加わった。	
車外に本製品を持ち出した。	取り付け上のご注意を確認の上、車両に両面テープ付き面ファスナーを用いてしっかりと固定してから、走行を開始してください。	
エンジンがオフになっている。	エンジンをオンにして、本機の電源をオンにしてください。	
充電しても、Wi-Fi機能が有効にならない。	●サーバーとの同期に時間がかかっている。または電波受信状況が悪く、同期がうまくできていない。 ●本機が正しく取り付けられていない。	●しばらくしてからご確認ください。 ●電波受信状況の良い場所でご確認ください。 ●サーバーの状況をご確認ください。 ●本体を進行方向に対して、できるだけ水平または垂直に取り付けてください。→「 <a href="#">本体の取り付けと接続</a> 」
充電しても、サービス利用期限が更新されない。		
Wi-Fi機能は有効になっているが、スマートフォンからつながらない。	接続できるデバイス数の上限を超えている。またはネットワーク名(SSID)、パスワードの設定に間違いがないかご確認ください。 ●接続するデバイス側のWi-Fi設定に間違いがないかご確認ください。	
本機の電源が入らない、本機が再起動してしまう	接続されているUSBポートの電流が不足している	付属USBシガーチャージャーもしくは1.5A以上供給可能なUSBポートに接続されているかご確認ください



# 比吸収率（SAR）について

**この機種「DCT-WR200D/-E/-D」は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。**

本機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本機に対するSARの許容値は2.0 W/kgです。取扱説明書に記述する通常使用の場合、本機のSARの最大値は0.85 W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。本機は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、本機の出力は小さくなります。

通信中は、身体から2 cm以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、世界保健機関のホームページをご参照ください。  
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

**総務省のホームページ**

http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

**一般社団法人電波産業会のホームページ**

http://www.arib-emf.org/index02.html

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規制第14条の2）で規定されています。

# 商標・著作権など

- 本機は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。



- Wi-Fi CERTIFIED™ ロゴは、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- USB Type-C® および USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 「docomo in Car Connect」「dアカウント」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- ドコモUIMカードの名称は、日本およびその他の国における株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- iPhone は米国、他の国々および地域で登録された Apple Inc. の商標です。日本における iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- 参照している NTP サーバーは、インターネットマルチフィード株式会社提供のものです。  
https://www.mfeed.ad.jp/ntp/
- LTE は、欧州電気通信標準化機構 (ETSI) の商標です。

# 仕様

全般	電源電圧	DC 5 V（USB シガーチャージャー付属（※1））
	消費電力	1.5 W（typ）（本体のみ）
	動作温度	-10℃～+60℃
	動作時温度	90%以下
	ドコモUIMカード	nanoUIM
	外形寸法	91.5 mm × 16 mm × 47.1 mm（幅 × 高さ × 奥行）
本体質量	60 g（USB シガーチャージャー、USB ケーブルなどを除く）	
取付推奨角度	0°～20°	
Wi-Fi	対応規格	IEEE 802.11 b/g/n（2.4 GHzのみ）
	対応チャンネル	1～13 ch
	セキュリティ方式	WPA2-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)/WPA-PSK(TKIP)、WPA3 Personal、WPA3/WPA2-PSK(AES)
最大同時接続台数	5台	
LTE™	対応バンド	Band1、Band3、Band19
	通信速度（※2）	受信最大 150 Mbps（ベストエフォート方式） 送信最大 50 Mbps（ベストエフォート方式）
USBシガーチャージャー（※1）	コネクタ	USB タイプ A
	ポート数	2
	入力	DC 12 V/24 V
	使用温度範囲	-10℃～+60℃
	出力（USB Type-A）	DC 5 V/2.4 A（各ポート）
合計最大出力	24 W	

※1 DCT-WR200D-E には付属しません。

※2 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

パイオニア ID（メールアドレス）

パイオニア ID 登録サイトのパスワード（8～32文字 半角英数字）

SSID（変更した場合に、記入してください）

パスワード（変更した場合に、記入してください）

d アカウント

d アカウントのパスワード

使用開始日

ラベル貼付欄

付属のラベルを貼付してください

トラブル防止のため、本機の使用を中止される場合等は、リセットボタンを10秒間長押ししてSSID/パスワードを初期化してください。My Pioneer（マイパイオニア）サイトで機器登録の解除を行っていただき、上記の情報を破棄してください。

